

ガンコ親父の

日本のジューン・ブライド「6月の花嫁」は梅雨に誕生することになる。古くから欧米では、6月に結婚した2人には幸せな結婚生活が訪れるというが、学たちは大丈夫だろうか、鬱陶しい雨の毎日、貴代の心配事は消えることがなかった。松次郎が張り切って飲む披露宴の酒量も心配の種だが、いよいよその日がやって来た。

「人生には、大切な三つの袋があります。胃袋、今は振込ですが、いわゆる給料袋、そして堪忍袋…」と花菜の職場の上司が定番のスピーチをした。その後に、今度は負けじと学の同窓生が「お袋、レジ袋、寝袋」と夫婦喧嘩に負けた旦那の必要品になる新・三つの大切な袋を披露して、笑いを取った。

アルコールでボルテージが上がり、なりふり構わぬカラオケ合戦の様相を呈したものの、式場の進行はぎりぎりのところでそれを許さず、順調に披露宴も進んだ。学は最後の新郎の挨拶が気にかかって酔えなかったが、松次郎は新郎の父親のスピーチが残っているのに、しまっちゅ伝蔵を飲み過ぎて、すでに出来上がっていた。やはり、貴代の心配は的中した。

披露宴も佳境、両親への花束贈呈のとき「花嫁の手紙を花菜は読み上げた。情感を盛り上げるBGMが流れる中、その手紙は列席者の感涙を誘った。両親への感謝の気持ちを素直に伝え、自分の晴れ姿を見せることのできなかった天上の祖母への思いを語る時、花菜は感極まって何度も言葉に詰まった。松次郎も、花菜の清らかな心に、こみ上げて来るものを押さえることができなかった。

最後に花菜は「学さんと一緒に必ず幸せになります」といったん話をおさめた後に、「その学さんのお父さんにも心より感謝いたします」と言った。そして長くなる話を恐れずに言葉を続けた。

「最近我真面目に『ひとつの思い』を貫き通すことが恰好良くないことだとか、意味のないことだとか言われますが、そんな中、学さんのお父さんの『松次郎』さんに、『ガンコ親父』と呼ばれているそうですが、私はこの結婚を通じて大切なことを教わりました」

花菜が、まさか松次郎のことを話すとは思ってなかった隣の学は驚いた。松次郎さんは、私の初めての訪問を精一杯盛り上げようと『歓迎のくす玉』を手づくりして待っていてくれました。こんな経験は初めてでした。大人の大人が本気で私のようなものを喜ばせようとしたのです。私はその日にいただいた高級な寿司よりも、その手づくりの『歓迎のくす玉』のほうは何倍も嬉しかったです。

人を喜ばそうとする純粹な気持ちを貫き通すことができる方を、お父さんと呼ぶことができるなんて。わたしは学さんという旦那さんとの大切なお父さんの両方を手にすることができました。こんな幸せはありません……私もこれからガンコにみんなを愛したいと思います」

松次郎は新婦の言葉に感激して泣き続けた。会場のほとんどすべてが涙した。新郎の父親の挨拶が進行できない式場の司会者だけは焦っていたが、松次郎は人生で味わったことのなかった幸せな時間に浸った。涙に濡れながらも、「俺は世界一の幸せ者だ」とマイクに向かって何度も何度も叫び続けた。

奄美黒糖焼酎

しまっちゅ伝蔵

常圧蒸留

昔ながらの手造り こだわり焼酎

喜界島の豊かな大地の恵と豊かな自然の中で、永年の伝統に受け継がれた製法でじっくりと醸しあげた「しまっちゅ伝蔵」黒糖焼酎の味を全面に出し昔ながらのkokoroのある味と香りです。



900ml (25%) 1800ml (25%) 1800ml (25%)



喜界島酒造株式会社
鹿児島県大島郡喜界町赤連296番地12
☎0997(65)0251



2009年10月喜界島は「日本で最も美しい村」連合に選ばれ、加盟しました。喜界島酒造は、この活動を応援しています。

25度
好評発売中

結婚に乾杯!

<http://www.kurochu.jp>

お酒は20歳になってから。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児に悪影響を与えるおそれがあります。